

平成26年度肝疾患相談センター相談員研修会

肝炎治療に対する医療費助成と 後期高齢者医療制度について

東海大学医学部付属病院 医療ソーシャルワーカー 伊勢啓一

肝炎治療の医療費助成

肝炎医療費助成の目的

- ▶ 我が国最大級の感染症であること
- ▶ 肝炎に対するインターフェロン治療およびインターフェロンフリー療法並びに核酸アナログ製剤治療によってその後の肝硬変や肝がんといった、より重篤な病態への進行を防止することができること
- ▶ しかしながら、これらの治療が高額で患者への治療アクセスがよくないこと

医療費助成の概要

平成20年度からB型・C型肝炎のインターフェロン治療に対する医療費助成が開始され、平成21年度からは、一定の条件を満たした場合には助成期間の延長を認める等の運用変更が行われた。平成22年度からは、自己負担の限度額の引き下げや、核酸アナログ製剤治療を助成対象に追加する等の運用変更が行われた。平成23年度からはテラプレビルを含む3剤併用療法等を、平成26年9月からは、インターフェロンフリー治療が助成対象に追加された。

* 感染経路を問わず助成する

C型慢性肝炎に対するインターフェロンフリー治療(ダクタスビル及びアスナプレビル併用療法)の医療費助成

- ▶ HCV-RNA陽性のC型慢性肝炎又はChild-Pugh分類AのC型代償性肝硬変で、インターフェロンを含まない抗ウイルス治療を行う予定、又は実施中の方で、肝がんの合併のない方。
- ▶ 1回のみのお助成だが、インターフェロン単剤、2剤、3剤併用治療の制度利用歴がある方も対象となる。

ダクラタスビルとアスナプレビルの適応

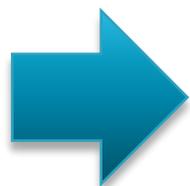
- ▶ インターフェロンを含む治療に「不適格」で未治療の方と、「不耐容」の方、及びインターフェロンを含む治療法で「無効」となった方が対象。

* これまでのインターフェロンを含む治療によりウイルスが消えたがその後再燃した方は助成対象外。

インターフェロンフリー治療の薬価

- ▶ ダクルインザは1日1回、スンベプラは1日2回、併用して24週間経口投与する。薬価はダクルインザ1錠9186.00円(1日薬価:9186.00円)、スンベプラは1カプセル3280.70円(1日薬価:6561.40円)。

15,747円/日 × 30日



= 472,410円/月

助成内容

- ▶ 患者の世帯の市町村民税課税年額に応じ、その自己負担限度額を原則1万円(上位所得階層は2万円)とする。

階層区分	自己負担限度額(月額)
世帯の市町村民税(所得割)課税年額235,000円以上の場合	20,000円
世帯の市町村民税(所得割)課税年額が235,000円未満の場合	10,000円

後期高齢者(75歳以上)の 医療費制度について

各年代別の医療費の窓口負担

3割負担

70歳未満

3割負担

(現役並み所得)

2割負担

(誕生日が昭和19年4月1日
までの方は1割負担)

70歳以上
75歳未満

1割負担

75歳以上

後期高齢者(75歳以上)医療費について

- ▶ 原則1割負担(現役並み所得者は3割負担)
- ▶ 高額療養費の自己負担限度額(月額)は、

入院: 44,400円

外来: 12,000円

* 1割負担の場合

外来医療費の自己負担

- ▶ 後期高齢者の方は、高額な手術・検査・治療・処方があっても、保険診療内であれば外来の費用は**12,000円**でストップ。
- ▶ 47万円の薬代がかかっても、**12,000円**
- ▶ 消化器内科、整形外科等、診療科が多岐に渡っていても月額上限は**12,000円**